

「ため込み癖と発達傾向および精神的健康との関連に関する調査研究」

堀内 聡・川乗賀也・菅野道生 (岩手県立大学社会福祉学部・講師)

<要旨>

ほとんど使わないモノを捨てられず、モノが散乱してしまう傾向を「ため込み癖」と呼ぶ。本研究では、まずため込み癖の評価尺度である Hoarding Rating Scale (HRS) 日本語版の信頼性と妥当性を検証した。次に、ため込み癖と人口統計学的要因、精神的健康度および発達傾向の関係を検討した。大学生 193 名と成人 320 名を対象として HRS 日本語版の信頼性、成人 550 名を対象として妥当性を確認した。ため込み癖と人口統計学的変数との関連を検討するために成人 1000 名、ため込み癖と精神的健康度と発達傾向の関係を検討するために成人 1040 名からデータを得、現在解析中である。

1 研究の概要

ほとんど使わないモノを捨てられず、モノが散乱してしまう傾向を臨床心理学では「ため込み癖」と呼ぶ。本研究では、まずため込み癖の状態を把握する評価尺度である Hoarding Rating Scale (HRS) 日本語版の信頼性と妥当性には検証した。次に、ため込み癖と人口統計学的変数との関連を検討する。ため込み癖と精神的健康度と発達傾向の関係を検討する。これらを行うことで、わが国の研究と臨床で利用できるため込み癖の評価尺度を作成するとともに、ため込み癖を理解する心理学的モデルの構築を行うことができる。なお、

2 研究の内容

HRS 日本語版の信頼性と妥当性には検証を検討するため、3つの研究を行った。研究1は1因子構造と信頼性を検討・確認するものである。193名の大学生に紙ベースでHRSに日本語版に回答してもらったと同時に、320名の成人にweb上で同尺度に回答してもらった。32名の大学生には2週間後に再調査を行って回答を得た。研究2は成人210名を対象としてweb調査を行った。HRS日本語版と社会的望ましさに関する調査を行った。研究3は550名の成人を対象として、web上で、HRS日本語版、ため込み癖・不安・抑うつ・強迫症状を測定する尺度に回答してもらった。

3 これまで得られた研究の成果

HRS 原版では、因子構造が検討されていないため、最尤法による探索的因子分析を行った。固有値の変動とスクリー・プロットの結果より、HRS 日本語版は1因子解が妥当であると判断された。

内的整合性についてCronbachの α 係数を算出したところ $\alpha = .89$ であった。再検査信頼性について1回目の調査と2回目の調査の間でPearsonの積率相関係数を算出したところ、 $r = .76$ であった。

収束的妥当性について、HRS 日本語版の合計得点および各項目とため込み癖を評価する Saving Inventory-Revised

(SI-R) 日本語版の合計得点および各下位尺度との相関係数は、 $r = .54-.84$ であった。また、HRS 日本語版の合計得点および各項目と強迫症状を評価する尺度の“溜め込み”との相関係数は、 $r = .47-.59$ であった。一方、HRS 日本語版の合計得点および各項目と明らかに (ため込み癖の一側面) を測定する Clutter Image Rating 日本語版の平均点との相関係数は、 $r = .33-.41$ であった。他方、弁別的妥当性について、HRS 日本語版の合計得点および各項目と不安や抑うつを測定する尺度との関連は $r = .27-.34$ であった。

以上のことから、HRS 日本語版 (Table 1) という5項目でため込み癖を評価できる尺度を作成することができた。

Table 1. HRS日本語版の項目

Item1	とり散らかり	部屋がモノであふれて乱雑に散らかっていることやモノが多いことが原因で、自宅の部屋を使うことがどの程度困難になっていますか？
Item2	処分の困難さ	他の人であれば処分するようなありふれたモノを、手放す(リサイクルに出す、売る、人に譲る、寄付する)ことが、どの程度困難になっていますか？
Item3	過剰なモノの入手	無料のモノを必要以上に集めてしまう、あるいは必要以上のモノ、また使用できる以上の量や買う余裕のないモノを買ってしまうという問題が現在のどの程度ありますか？
Item4	精神的苦痛	部屋がモノであふれて乱雑に散らかっていることや、モノを手放すことができないこと、あるいはモノを買ったり手に入れてしまったりするために、どの程度の精神的苦痛を感じていますか？
Item5	社会・日常生活の支障度	部屋がモノであふれて乱雑に散らかっていることや、モノを手放すことができないこと、あるいはモノを買ったり手に入れてしまったりするために、自分の生活(日課、仕事や学校、社会活動、家庭生活、経済面での困難)にどの程度支障がありますか？

注: HRS = Hoarding Rating Scale

4 今後の具体的な展開

ため込み癖と人口統計学的変数との関連を検討するためのweb調査は2017年2月に行い、成人1000名のデータを得た。また、ため込み癖と精神的健康度と発達傾向の関係を検討するためのweb調査は3月に終了し、成人1040名からデータを得ている。これらのデータは現在解析中であり、今後公表を予定している。